

日本学術会議 法学委員会 セーフティネットと法分科会（第 26 期・第 3 回）
議事要旨

開催日時：2025 年 8 月 31 日（日）10：00～12：00

開催場所：オンライン開催

出席者：丸谷 浩介 秋元 美世 有田 謙司 魚住 明代
 片桐 由喜 川口 美貴 川嶋 四郎 只野 雅人
 豊島 明子 糠塚 康江 長谷川 珠子 濱 真一郎
 廣瀬 真理子 矢野 昌浩
欠席者：石田 道彦 高田 清恵 (敬称略)

議題

1. 前回の議事録確認と今後の分科会の進め方について

前回（5 月 10 日）の分科会の議事要旨案についてメール審議を行った結果、修正依頼がなかったため、承認を確定したことが委員長より報告された。

また、委員長と委員より学術会議の改革動向に関する情報共有が行われ、本分科会の今期の具体的な活動方針を継続していくことが確認された。

2. 研究報告

委員 2 名により、以下のテーマについてそれぞれ研究報告と質疑応答が行われた。

（1）濱 委員： 「セーフティネットとは何か」

（2）秋元委員： 「ベーシック・インカムが新たなセーフティネットとして機能する上での法的な意義と課題」

3. その他

次回の分科会の日程は、2025 年 11 月または 12 月にオンライン形式で開催する予定となった。

【配付資料】

- ・濱委員「セーフティネットとは何か」
- ・秋元委員「ベーシック・インカムが新たなセーフティネットとして機能する上での法的な意義と課題」/「ベーシック・インカムと社会保障法—権利論からの考察—」『社会保障法研究 第 20 号 2024 年 10 月』55～77 頁/ 「趣旨説明：シンポジウム①非典型的な困難への給付のあり方とその要保障性の検討」『社会保障法第 37 号』2021 年、7～16 頁

以 上